



食欲の秋と芸術の秋を一度に楽しむ「マクドナルド美術館」を開催

11月26日（水）～期間限定

～全国の店舗で人気商品を描いた5種類のトレーマットを展開～
六本木ヒルズ店内では原画展示もスタート

さらに！マックフライポテト®の屋外広告が世界最大のトレーマットとして本日ギネス世界記録認定！！

日本マクドナルド株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長兼CEO：トマス・コウ）は、大人気の定番商品を“絵画作品”として描き、おいしさや魅力をわかりやすく伝える「マクドナルド美術館」を11月26日（水）から期間限定で開催します。

「マクドナルド美術館」は、お客様に食欲の秋と芸術の秋を同時に楽しんでいただきたいとの想いから、人気商品の魅力を目でもご堪能いただけるよう、美術大学の現役/OBOGのアーティストの方々に制作を依頼し、開催が決定しました。マクドナルドの人気のレギュラー商品「マックフライポテト®」「ビッグマック®」「ダブルチーズバーガー」「てりやきマックバーガー」「チキンマックナゲット®」の5品を絵画作品に見立て、各商品の魅力を最大限に表現し制作されました。精巧なデザインで躍動感を感じさせる各作品には、作品名に加え、解説キャプションが付けられ、商品の魅力を真摯さとユーモラスで表現しています。



ビッグマックを描いた「祝福」

※画像はイメージです

全国の店舗では、これらの絵画作品をデザインしたトレーマットを作品ごとに順次展開いたします。同時に店内に設置されている、お客様に様々な情報をお届けする「デジタルコミュニケーションボード」でも紹介いたします。店舗でのお食事とともに、そのおいしさや臨場感、品質へのこだわりをアートを通じてご体験いただければと存じます。



六本木ヒルズ店内の原画展示

六本木ヒルズ店では、これら絵画作品5枚の原画に加え、「マクドナルド美術館」のコンセプトを記したメッセージを店内3ヵ所にわけて展示いたします。絵画は、実際のトレーデザインを模した額縁に入れておりますので、マクドナルドらしさも含め、美術館のように店内アートをお楽しみいただけます。

さらに、11月26日（水）から下北沢の複合施設「ミカン下北」で掲出している、マックフライポテトの作品をトレーマットに見立てた屋外広告が、同日にギネス世界記録™「Largest tray liner」（最大のトレーマット）に認定されました。この屋外広告は、幅約3.7m×高さ約2.6m、表面積約9.6m²の大きさを誇り、通常のトレーマットの約100倍に相当する“トレーマットアート”で、ギネスワールドレコードの公式認定員立会いのもとで測量されました。



ギネス世界記録に認定された屋外広告（ミカン下北）



ギネス世界記録 公式認定証

ぜひ、秋の終わりに、食欲をそそる絵画作品を鑑賞いただきながら、お食事をお楽しみください。

マクドナルドは、変化する社会やお客様のニーズに柔軟に対応し、進化を続けます。そして、持続可能な社会の実現に向けて取り組みながら、おいしさと笑顔を地域の皆さんにご提供してまいります。

＜お客様のお問い合わせ先＞

マクドナルド公式ホームページ <http://www.mcdonalds.co.jp/>

◆マクドナルド美術館 メッセージ

『世界中で愛される絵画があるように、世界中で愛されるメニューがある。人はそれを「レギュラーメニュー」と呼ぶ。レギュラーとは、普通のことではない。いわば「奇跡」のことである。長い年月をかけ、何千、何万というメニューから選び抜かれた食のパーマネント・コレクションなのだ。』

このメッセージは、マクドナルドの人気メニューに込めた思いを「マクドナルド美術館」のコンセプトとして制作したものです。六本木ヒルズ店限定で掲出いたします。

◆トレーマットアートのデザイン詳細

これらのアートは、現役/OBOGの美術大生の方々が油絵で制作したもので、約1~2ヶ月の制作期間を経て、完成しました。



①作品名：「星が降るように」（マックフライポテト® 1971-）

これは、マクドナルドのポテトを表した絵画である。「味付けは塩のみ」。この事実がいかんなく表現されている。ポテトの上に光る大粒の塩は、まるで夜空にきらめく一等星のようだ。ポテトと塩とフライオイル。このおいしさの黄金比は、人類史に輝く大発見と言えるだろう。太古の昔より、人は星空を見飽きることがない。同じくこのポテトもまた、食べ飽きることがないのだ。

トレーマット展開期間：2025年11月26日(水)～



②作品名：「祝福」（ビッグマック® 1971-）

ビッグマックを食べることは、人生における祝福である。健全な食欲があり、ゆっくりと味わえる時間的余裕があり、そしてなにより「ご褒美」として、ビッグマックを自分に許したくなる出来事があった。そんな達成感と悦惚感が、この絵画には込められている。バーガーの間から、溢れ出るシユレッドレタスは、優勝トロフィーを祝って舞う、紙吹雪のようだ。You did it！人生に、ビッグマックあれ。

トレーマット展開期間（予定）：2025年12月10日(水)頃～



③作品名：「包まれた記憶」（ダブルチーズバーガー 1983-）

熱で溶け落ちた、スライスチーズの角。見ようによつては、「美」とは正反対の姿だ。しかし、ここにこそ真の美しさが描かれている。1秒でも早くダブチ®を届けたいというマクドナルドクルーの想い。バンズの上にマスタード、ケチャップ、オニオン、ピクルスを載せ、焼き上げたパティと2枚のチーズを素早く挟んでラッピングしなければ、こうはならない。愛と熱に包まれた記憶。心も溶けるわけである。

トレーマット展開期間（予定）：2025年12月24日(水)頃～



④作品名：「永遠の二択」（チキンマックナゲット® 1984-）

チキンマックナゲットは、いつも我々に、人生の選択の難しさを教えてくれる。シェイクスピアの有名な一節を借りるなら、「バーベキューか、マスタードか、それが問題だ」ということになる。答えの出ない永遠の二択。しかし、もう一度よくこの絵を見て欲しい。ナゲットに、うっすらとバーベキューソースの痕跡があるのだ。そう、禁断の「両づけ」である。左上に描かれた手は、ソースをダブルで注文できる「大人の手」だったのだ。

トレーマット展開期間（予定）：2026年1月7日(水)頃～



⑤作品名：「溺れるレタス」（ teriyaki マックバーガー 1989-）

これは、てりやきマックバーガーを表した絵画作品。挟まれたレタスは、まるでてりやきソースの海で溺れているかのようである。新鮮なレタスのシャキシャキ感、そのアイデンティティは一見、濃厚なソースの海の中で失われたように見える。だが一口噛めばそこには、見事な食感が表現される。みずみずしいレタスと、肉々しいパティの官能的なハーモニー。そう、溺れているのはレタスではない。私たちなのだ。

トレーマット展開期間（予定）：2026年1月21日(水)頃～

※画像はイメージです

※店舗でのトレーマット展開期間は、おおよその目安です。展開期間は前後する可能性がございますので、ご了承ください。

※各デザインのトレーマットは無くなり次第、終了となります。